

2019年 9 月 30 日

第50回「博報賞」受賞者決定

公益財団法人 博報児童教育振興会(博報財団)は、第50回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

本年度は、博報賞が12件、功労賞が1件、奨励賞が10件選出されました。なお、第50回「博報賞」の贈呈式は、2019年11月8日(金)午後 4時より、日本工業倶楽部(東京都千代田区)にて行われます。

■博報賞とは

「博報賞」は、教育実践の活性化と支援を目的とし、とりわけ“ことば”を軸とした、すぐれた取り組みを継続されている学校・団体・個人を顕彰しています。

■賞の内容

「国語・日本語教育部門」、「特別支援教育部門」、「日本文化・ふるさと共創教育部門」、「国際文化・多文化共生教育部門」、「教育活性化部門」の5部門を贈呈対象としています。教育委員会、学識経験者など第三者より推薦された候補者の中から、審査委員会(委員長: 柘植雅義 筑波大学教授)において審議・決定されます。

博報賞受賞者の中から各部門1件まで、特に秀でた実践がある場合、「文部科学大臣賞」が贈られます。

また、本年度より、長きにわたる高い功績に贈る功労賞と、萌芽的な活動を支援する奨励賞を設けました。受賞者には、博報賞は賞状と副賞金100万円、功労賞は賞状と副賞金50万円、奨励賞は賞状と副賞金30万円が贈呈されます。

■本年度の受賞者

本年度の博報賞は、「国語・日本語教育部門」 2件、「特別支援教育部門」 1件、「日本文化・ふるさと共創教育部門」 4件、「教育活性化部門」 5件の合計12件に贈呈されます。また、功労賞は1件、奨励賞は10件に贈られます。「文部科学大臣賞」は、博報賞の中から3件が選出されました。

各部門の受賞者および活動タイトルは、別紙「受賞者一覧」をご覧ください。

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、1970年、株式会社博報堂の創業75周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011年4月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子ども達の豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「博報日本研究フェローシップ」「博報日本語交流プログラム」「博報財団こども研究所」など、「ことば」と「文化」の領域を中心に、児童教育の支援につながる活動を行っています。2018年度はこれらに加え、新たに「博報教職育成奨学金」を設立しました。

公式ホームページ <https://www.hakuhofoundation.or.jp>

■本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会

博報賞担当 平日9:30~17:30

TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016

E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

第50回「博報賞」受賞者一覧

◆国語・日本語教育部門：博報賞2件 奨励賞3件

博報賞

岩手県	盛岡市立桜城小学校 ★	心をつなぐことばの交流ができる子を目指して
広島県	広島県立広島中学校	世界に通用する論理的な思考力・表現力を育む 「ことば科」の取り組み

奨励賞

京都府	八幡市立男山東中学校	中学校全教科における「ことばの力」を活かす 授業改善と小論文の作成
新潟県	吉澤 孝子	リーディング・ワークショップを用いた図書館活用の試み
愛知県	川崎 直子	日本語教育を通じた外国につながる子どもたちの支援活動

◆特別支援教育部門：博報賞1件 奨励賞1件

博報賞

新潟県	南魚沼市立総合支援学校	地域と共に協働し、共生社会の形成へつながるカフェ活動の実践
-----	-------------	-------------------------------

奨励賞

神奈川県	神奈川県立小田原養護学校 大井分教室	作業学習における農作業を通じた就労体験と社会貢献活動の推進
------	--------------------	-------------------------------

◆日本文化・ふるさと共創教育部門：博報賞4件 功労賞1件

博報賞

栃木県	那須塩原市立塩原小中学校	地域の中の学校「塩原小中学校」 ～地域と共に生きる児童生徒の育成を目指して～
長野県	飯田市立遠山中学校	学社協働の「伝統文化継承教育」による、 地域の持続可能性を高める取り組み
兵庫県	尼崎市立下城部小学校 ★	「近松」と共に ～教育活動の柱として「近松郷土学習」を位置付けた取り組み～
熊本県	御船町立七滝中央小学校	「伝統文化をつなぐ、ふるさとの絆をつなぐ」 地域と共にある学校づくり

功労賞

広島県	北広島町立壬生小学校	伝統に誇りをもつ児童の育成をめざした 「子ども田楽・金管バンド」への取り組み
-----	------------	---

◆国際文化・多文化共生教育部門：奨励賞3件

奨励賞

岩手県	一般社団法人 北上市国際交流協会	English Park発「おもてなしキッズ」経由、 フィンランドとのベンパル交流
長野県	上田市立東小学校	国籍の異なる児童が、互いの違いを認め合いながら、 共に学び、共に育つ学校
香川県	丸亀市立城乾小学校	「みんなちがって、みんないい」多文化共生の学校づくり

◆教育活性化部門：博報賞5件 奨励賞3件

博報賞

宮城県	網地島ふるさと楽好	網地島ふるさと楽好 ～限界集落の社会貢献 愛される記憶を子どもたちに～
新潟県	上越市立大島中学校	ふるさと大島 活性化プロジェクト
山梨県	認定NPO法人 フードバンク山梨 ★	生活困窮世帯で暮らす子どもたちへの学習と 生活支援教室「えんぴつひろば」
福岡県	大牟田市立中友小学校	人や地域とつながる「子ども民生委員活動」
熊本県	西原村ふるさと塾プロジェクト	ふるさと塾を通して学ぶ故郷の自然や そこに生きる人々の営みのたくましさ

奨励賞

茨城県	チームうさふく	母子生活支援施設の子どものための “出前”サポート&ケアプログラム
茨城県	春田 友則	地域に開かれた学校づくりの推進 ～「ギャラリーひのたて」の実践を通して～
群馬県	茂木 克浩	ALSのクリエイターとつくる授業『人DESIGN Project』

※★印のある受賞者は、文部科学大臣賞もあわせて受賞